



毎月十五日発行 社会 宗像 大像 所大 社 宗像 大像 所大 社 宗像 大像 所大 社

結核式場用品 株式会社 井筒 神具・装束 福岡店 福岡市博多区東公園二丁目三十一番八号

五月祭(浜宮・皐月宮)齋行

新緑薫る初夏の中



五月晴れの空に悠々と鯉のはりが泳ぐ中、五月五日(端午の節句)に当大社恒例の五月祭並びに浜宮祭が斎行された。

年自然の祭典等が参列して祭典が斎行された。五月祭、浜宮祭終了後、当大社五百祭にて直会が催された。御膳には古式に則り、栗が用いられ、櫛の若葉が敷かれた折敷に、赤飯の揚げ餅とガメ茶、粽、粽、ガメの葉餅を煎じ、酒を酌み交わし、窓外の五月風に軒高、青空に悠然と泳ぐ鯉のはりを眺めながら、和やかなひと時を過ごした。

来た今には面影をしのぶばかりであるが、古来からこの五月祭の中核となってきた「神まつり」は現在まで連続して受けつがれていく。

新風に期待するもの

この春、宮司の交替した神社もあり、神社の役員改選などもあって、それぞれ抱えている人も少なくあるまい。出処進退を自ら決めることのできる者もあれば、周囲の事情から已むなく受けなければならない人もあり、状況は同様ではないし、そこに至る過程にはさまざまな思ひがあつて、よりよく職務を果さなければならない以外にむづかしいことなど述べ懐する人もある。

大過なく退任することができたといふ安堵は責任の重大さを常に自覚していたからで、身の引き締まるやうな思ひがすといふのも重責を痛感するための言であるが、退任も就任も神社のため、斯界のためでなければならぬことは言までもない。

「宗教」を平易に述べるなら、神又は超越した人格者を崇め、俗世間から分離し、禁欲された神聖なるものを信仰する。故に宗教は信者、崇拜者に対し各々の教義、教典、礼拝施設を有し、祭祀、行事等を体系づけ、布教、教化の活動を行う。



宗像大社歌会詠草 第四〇七回 中村吾郎 選 毎月末日、切

名呂屋 小田喜一 喪に當る家の職は降ろされて矢車のみが光を返す (評)喪の歌では返すがこの歌には人間の真の姿の象徴がある。職のない矢車の光り乍らの回転が生ずる。

河東 薄 かねる がまがりて運転席に着替へるし青年は僧衣まといて立てり (評)僧衣に替へてすつく

自由ヶ丘 津江富子 冬日照る川の砂地を群羊してあひるが歩む言た乍ら (評)淡々とした歌ではあるが、こんな作品を見逃してはいけない。作者と家鴨との息が融れ合っている。

日里 後藤 君代 すみやかにまたゆるやかに時は逝く埋み火のごとき心つつみ (評)津屋崎 佐々木和彦 風の後蓬は葉を脱がせてしらがねに朝日に光る

大島 越智 治子 役目終え連絡船はスラバヤに完られてゆくとも港出で行く (評)福間 本松 宣子 二三度の笛鳴き残し今朝も去る知らずお前を待つ吾のこと

名呂屋 小田 留子 川土手を焼きたる跡のひと処頭の黒き土筆刺し出す (評)池田 小田 伊世 国内の幾多災ひをよそにして阿蘇牧場にのどけきを見る

沖・中両宮 春季大祭賑う



大島の山並み緑を増し、山桜が色鮮やかな四月十三、十四日の両日、宗像大社沖津宮、中津宮両宮春季大祭が盛大に斎行された。

この大祭は、例年旧暦の三月十四日、十五日に斎行されるので、毎年月日が異なる。当日大島の漁業者は漁を休み、今年の豊漁と海上安全を祈念する。

大祭の準備には、数日前より、沖・中両宮奉賛会、同族婦人部並びに親睦会の方々に、御嶽宮、沖津宮、中津宮境内に御嶽宮の境内清掃等が行われ、装いもすっきり整い大祭を待つばかりとなった。

大祭前日の十三日午後三時、中津宮境内において地主祭を斎行、いよいよ大祭の繁栄と世界の恒久平和を祈念し、昭和天皇の御偉業を讃えつつ、神前に玉串を捧げ祭典は滞りなく終了した。

昭和祭斎行

昭和天皇の御偉業を偲び

国民祝日の「みどりの日」である去る四月十九日、昭和天皇の御偉業を讃える昭和祭、厳粛に斎行された。

「みどりの日」は昭和天皇が戦後、焼土と化した国土を憂い、植樹をされた事に始まり今年で四十六回目を迎えた。戦後半世紀を過ぎる未曾有の危機にあった日本は、今に至り世界的に重要な立場にある。しかしながら近年、世界中で人々を不安におとし入れる様な事件が多発している。情報化された社会は物質欲を満たす事は出来るだろうが、精神的安穩を何処へ求めるか一本の草木を焼土に埋める

心を現在の私達は見失わず、一本一本の安らかな心をこの日本に植えてゆきたいものである。

祭典は、当日生憎の雨天となったものの、緑葉が境内に萌え渡り霞がかった幻想的な雰囲気の中、美友宮司が昭和天皇の御聖徳を偲び、御聖業を讃え、皇室の弥栄と国家国民の恒久平和を祈念する祝詞を奏上。続いて昭和天皇の御製であり、皇紀二千六百年奉祝を記念して作られた浦安舞が奉納された。浦安舞は朝な夕な如く静かに平穏な世を祈る歌舞で、昭和天皇の御心象を偲ぶ事が出来る。

続いて各界の代表者が国の護儀が始まった。

午後五時より沖津宮遷拜所と中津宮に於て同時に行宮祭が斎行され、明日の大祭が恙なく執り行われることを祈った。

沖津宮は大島の北西約五十キロ、玄界灘の孤島沖ノ島に鎮座し、田心姫神をお祀りしているお社である。

沖津宮は、古来より祭祀のための参向、あるいは参拝が容易にできなかったが、沖津宮遷拜所が設けられ、海を遠く遠かに拝み祭祀を斎行してきた。

大祭当日の十四日、午前八時三十分より大島東側宮崎の高低い丘に鎮座する末社藤島神社(別名并財天)で春祭を斎行、今年の大島、海上安全が祈願された。

午前九時、沖津宮遷拜所に於て春季大祭を斎行、玄界灘が沖にある沖ノ島に鎮座する沖津宮へ神饌が供奉され、宮司の祝詞奏上、巫女二名による「浦安舞」と続き、宮司並びに参列者

御神木「楠の木」の新緑も段々輝き、境内の樹木が若葉を薫る四月十九日、「みどりの日」祝日の中、昭和天皇の御聖徳を偲び、昭和祭の御聖業を偲び、皇室の弥栄と国家国民の恒久平和を祈念する祝詞を奏上。続いて昭和天皇の御製であり、皇紀二千六百年奉祝を記念して作られた浦安舞が奉納された。浦安舞は朝な夕な如く静かに平穏な世を祈る歌舞で、昭和天皇の御心象を偲ぶ事が出来る。

続いて各界の代表者が国の護儀が始まった。

午後五時より沖津宮遷拜所と中津宮に於て同時に行宮祭が斎行され、明日の大祭が恙なく執り行われることを祈った。

沖津宮は大島の北西約五十キロ、玄界灘の孤島沖ノ島に鎮座し、田心姫神をお祀りしているお社である。

沖津宮は、古来より祭祀のための参向、あるいは参拝が容易にできなかったが、沖津宮遷拜所が設けられ、海を遠く遠かに拝み祭祀を斎行してきた。

大祭当日の十四日、午前八時三十分より大島東側宮崎の高低い丘に鎮座する末社藤島神社(別名并財天)で春祭を斎行、今年の大島、海上安全が祈願された。

午前九時、沖津宮遷拜所に於て春季大祭を斎行、玄界灘が沖にある沖ノ島に鎮座する沖津宮へ神饌が供奉され、宮司の祝詞奏上、巫女二名による「浦安舞」と続き、宮司並びに参列者

の受給給金を世に送り出して来た。「家庭の貧乏を問わず、成績の優秀を問わず、ただ一人の素質の良い生徒を出身中学校長の推薦によって選定し、支給する。高校卒業後本人からの返済を一切不要とし、神社が本人に望むは、土壌があら

あめつちのかみにぞ祈る朝なきの海のごとくになみたため世を

を記念して制定され、三十五年四月十九日の天皇祭(現「みどりの日」)に第一回の受給が行われた。以来三十五年、総勢五百六十六名

ゆる作物を生成發育せしめるように、将来の国根幹となつて下さいと祈ります。これは昭和二十六年五月十一日の新聞が当社奨学金制度を報じた文章抜粋である。

平成の御代も七年の歳月が流れ、昨年一月九日には皇太子殿下、雅子妃殿下の御成婚の儀が、宮中賢所で古式にのっとり厳しく執り行われた。天皇祭は十二月二十二日より、四月二十九日は「みどりの日」と呼ばれ、昭和天皇が愛され慈しまれた樹々、植物に感謝

王揖拝行い祭典を終了。午前九時三十分、大島村最峰の御嶽山々頂に鎮座する御嶽神社に於て春祭を斎行、御嶽神社は中津宮の奥宮として古くより多くの人の崇拝をあつめていた。午前十一時、中津宮本殿に於て、島内外より多数の崇拝者が参列して、春季大祭が厳粛且つ盛大に斎行された。神前には海川山野の神饌

と共に島民の真心からなる多くの献魚が供えられ、宮司の祝詞奏上に続き、村民を代表し、氏子奉賛使として、河辺治氏の奉賛詞奏上、次いで巫女二名による「浦安舞」が優雅に奏された。続いて宮司より自原奉賛会々長を始め各委員層の代表約四十名が玉串を奉賛、大御の御加護に感謝し次々と拝礼を行い、祭典は滞りなく終了した。



山々が蒼翠を増し、空に鯉のぼりがひるがえる五月一日より五日まで第二回宗像大社春季奉納盆裁展が、当社折敷口ロービー、二階で開催された。

宗像は古来より神都と称され、郡民はすべて大社の氏子、神の民として共々栄え、美しい文化の里、風光明媚な山河を今日に残してきた。

またかわいらしい小呂盆裁も展示され、参拝者を楽ませました。

比較的天候にも恵まれ、連休中とあって参拝者も多く、盆裁の格調と奥深さを鑑賞する人も賑わった。

参拝者の中には例年鑑賞に見えぬ人も多く、管理の会員と顔なじみとなり、盆裁に話はずむこともしばしばである。

その宗像地区(宗像市、玄海町、津屋崎町、福岡町、大島村)の愛好家が、昭和四十七年宗像大社奉納盆裁会を結成、翌四十八年十一月秋奉納盆裁展を開いた。

昭和五十九年五月より、参拝者の多い連休中に盆裁を鑑賞してもらおうと春季奉納盆裁展を開催、今年で十二回目を迎えている。現在在、再開催されているわけである。

会場には、真柏、杜松、杉等の松竹、さつき、さくら、花りん等の花もの、けやき、もみじ、かえで等の葉もの、姫つづき、アツツ桜、ふらち草、都わすれのおたき等の草もの等会員が展示された。

またこの時期は新芽の出る頃でもあり、管理の会員の盆裁への気ばりはひとしおである。

五月夕刻、五百間にわたった盆裁展も要諦に閉会した。

盆裁展後、後援会全員で、今年進まされた盆裁副会長、遠藤久一郎(大島村)氏のご賞状を祈るとともに秋の盆裁展のさらなる発展を祈りつつ再会を期した。



宁夏回族自治区银川市の郊外にある宁夏固原博物館には、沖ノ島八号岩窟祭遺跡から出土した「琉璃碗」と、同形態のガラス碗が二点展示されている。この「ガラス碗」は北周時代の古墳である李賢墓から出土したものである。今回の調査行の目的の一つでもある、東西交流と文化の移動など、奈良正倉院へと繋がるシルクロードの行程のうち、玄界灘の行き来が海のシルクロード(海北道)を越えて、渡り来たカットグラスが通った道、カットグラスが追って行くこともあった。

李賢墓の墳丘から調査中に発見された埋もれていた墓陪の墓誌銘には、李賢は五九九年に亡くなった北周時代の人であったことが記されていると言われている。この古墳から出土してきた数々の副葬品の中に含まれていたが、今回見るカットグラスである。

北周は西暦五五五年に孝閔帝が建国した中国の北方地方の国であったが、五八一年に隋が興り、中国を統一するまで続いた短命の王朝であった。

カットグラスには、大きく分けると二種類の製作方法がある。李賢墓から出土したカットグラスは、沖ノ島から出土したカットグラスと同様に、「浮き出し」彫形切子装飾(高田文房カット碗)である。碗を作る時の鑄型の表面を「凹形」とした手法によって作られた物として、イラン高原北部を源とする、パルティア・ササン朝の伝統を有するガラスとされている。

カットグラスについては後に述べているのでここで

はこれで省略する。

午後四時すぎに帰り小休止を取り、夕食後、今日はしばらく風もなく、空は晴れ渡り、さわやかな天候の一日を過ごした。

八月九日(少)晴れ。今日一日、黄土高原を越える汽車の旅である。

今回の調査行の目的の一つでもある、東西交流と文化の移動など、奈良正倉院へと繋がるシルクロードの行程のうち、玄界灘の行き来が海のシルクロード(海北道)を越えて、渡り来たカットグラスが通った道、カットグラスが追って行くこともあった。

李賢墓の墳丘から調査中に発見された埋もれていた墓陪の墓誌銘には、李賢は五九九年に亡くなった北周時代の人であったことが記されていると言われている。この古墳から出土してきた数々の副葬品の中に含まれていたが、今回見るカットグラスである。

北周は西暦五五五年に孝閔帝が建国した中国の北方地方の国であったが、五八一年に隋が興り、中国を統一するまで続いた短命の王朝であった。

カットグラスには、大きく分けると二種類の製作方法がある。李賢墓から出土したカットグラスは、沖ノ島から出土したカットグラスと同様に、「浮き出し」彫形切子装飾(高田文房カット碗)である。碗を作る時の鑄型の表面を「凹形」とした手法によって作られた物として、イラン高原北部を源とする、パルティア・ササン朝の伝統を有するガラスとされている。

カットグラスについては後に述べているのでここで

山裾では大曲りするので、前の所が山と見えて対岸の山裾が出る。まるで逆戻りしている様に錯覚してしまう。時には急勾配の所もありスイッチバック走行も行っていった。

今日の特快に乗っての汽車の旅であるので、まだいよよ緑り濃い敷着帯、寧夏平野を後にして、西南方向に向い一路大陸を南下して行く。

今日は特快に乗っての汽車の旅であるので、まだいよよ緑り濃い敷着帯、寧夏平野を後にして、西南方向に向い一路大陸を南下して行く。

一話(43) 中国調査紀行(六) 樂 忞 子

午後四時すぎに帰り小休止を取り、夕食後、今日はしばらく風もなく、空は晴れ渡り、さわやかな天候の一日を過ごした。

八月九日(少)晴れ。今日一日、黄土高原を越える汽車の旅である。

今回の調査行の目的の一つでもある、東西交流と文化の移動など、奈良正倉院へと繋がるシルクロードの行程のうち、玄界灘の行き来が海のシルクロード(海北道)を越えて、渡り来たカットグラスが通った道、カットグラスが追って行くこともあった。

李賢墓の墳丘から調査中に発見された埋もれていた墓陪の墓誌銘には、李賢は五九九年に亡くなった北周時代の人であったことが記されていると言われている。この古墳から出土してきた数々の副葬品の中に含まれていたが、今回見るカットグラスである。

北周は西暦五五五年に孝閔帝が建国した中国の北方地方の国であったが、五八一年に隋が興り、中国を統一するまで続いた短命の王朝であった。

カットグラスには、大きく分けると二種類の製作方法がある。李賢墓から出土したカットグラスは、沖ノ島から出土したカットグラスと同様に、「浮き出し」彫形切子装飾(高田文房カット碗)である。碗を作る時の鑄型の表面を「凹形」とした手法によって作られた物として、イラン高原北部を源とする、パルティア・ササン朝の伝統を有するガラスとされている。

カットグラスについては後に述べているのでここで

宗像大社歌会
俳句作品集 三六六

ひかりヶ丘 南 萬里
青葉潮が削身を帆となし

藤 沢 井上 玄洋
風そぐく濱に若草穂を挙げ

福 間 二宮 末子
風香る敷くくすや初音かな

自由ヶ丘 細川 絹子
春の風装う晴着纏みだす

福岡中央 力丸 玄風
古宮に花梅乱といふ香り

日の里 花田いつ枝
百蓮の散華の園に踏み入らず

若松 高橋 忠實
菜種梅雨アヤメぐんぐん芽を伸ばし



(続) 浜の寄物



玄海に漂着した気象観測器

今号は海からの漂着物に
対して、空からの漂着(？)
を述べておこう。
日本中がサリンの恐怖と

新聞もサリンを意識して
「液体入り気球落下」サリ
ンか、関東・関西防衛マス
ク姿で処理も「毎日」と

オウム教祖補正という
報がとびか中で、すわ
サリン攻撃、と早合点した
人も多かったのがサリンの気
球の落下だった。

五月十三日の朝から夜に
かけて、関東から西日本各
地に透明なビニール製の気
球が落下したことがテレビ
や新聞で報じられていた。

落下したのは千葉、神奈
川、埼玉、茨城、長野、石
重、大阪、滋賀、三重、
川、兵庫、奈良、香川、高
知、愛媛、岡山、鳥取等の
十八府県二十個に及んだ。

気象庁とかの発表もない
ようであるから、隣の韓国
が台湾、中華人民共和国か
らのもので、気象関係デー
タ収集ではないかと思う。

去年のものはハングル文字
があったそうであるから韓
国が北朝鮮の可能性がある
う。過去の例では、ほとん
ど韓国からのものであった。

宗像むかしばなし
蒙古襲来と宗像大宮司

文永十一年十月十九日、
対馬、喜岐、つづいて肥前
松浦郡を元にした義経の大軍
二万五千人は、博多湾に
せまり、翌二十日の朝、今
津、津、博多の三地点
から上陸し、残虐非道な掃
討戦を繰返した。世に云う
文永の役である。

蒙古帝室につかえた、イ
タリア人ルッコロの
「東方見聞録」を見るに
日本のことを記したなかに
「国内に産す黄金は無限だ」と
か、二吉は、黄金でしき
つめてある。また島中は
は真珠が多く、その色はバ

遠征部四軍を歩かれて陶
磁片の採集をしてる添田
征氏も、二個ほど気球
小型で気象観測用を拾
われている。私も今年初め
福岡花見浜で発泡スチロー
ルの容器(気球の部分と容
器の中間は流出していた
を拾ったことがある。多分
今回の騒ぎもこの類であら
うかと思ふ。

もう一九九二年の内戦終
了、海やその流れを利用
して、プラスチック容器の
中に液体が入ったものがあ
り、時が時だけに「サリン
ではないか」と迷彩服に防
毒マスクという物々しい服
装で約四十名がかけつけた
が、幸いサリンではなかつ
た。今の日本の状況がよく
あらわしているといえよう。

気象庁とかの発表もない
ようであるから、隣の韓国
が台湾、中華人民共和国か
らのもので、気象関係デー
タ収集ではないかと思う。
去年のものはハングル文字
があったそうであるから韓
国が北朝鮮の可能性がある
う。過去の例では、ほとん
ど韓国からのものであった。

宗像大宮司長氏が後深草天
皇の建長二年大宮司職に就
いた。建長八年に肥前より
り子々孫々大宮司院佐の
御下文を受け、更に弘安二
年には六波羅の北条左近将
監時國、今陸奥守時村より
社務職以下の安堵の御教書
を受けた。

而して此時、長氏は上洛
参内の折、従四位上に叙せ
られた。右近衛少将に任ぜ
られた。右で弘安四年第二
回の蒙古の大軍は筑前海に
来襲し、専まれた宗像の天
地も亦崩れぬが如き混乱
の中、置かれるを得なかつ

た。ジギスカンが必勝をか
けた蒙古の大軍は、第一回
にくらべて五倍をこえた大
軍で、前回にもまして残虐
を加えた。島民は、赤子の
鳴き声に発見されるのを恐
れ、愛児を殺すような
惨状がくりひろげられた。

宗像に酬むは此時と憤
然と宗像の手兵を率いて一
路博多津へと馳馬し鞭うつ
た。よく働きよく戦つた。
而して閏七月南北の颶風
一度起るやもろもろの十萬の
元軍は玄海の狂涛に覆没し
た。溺死するものその数を
知らず横屍浦口を塞いで海
上歩して行く有様だったと
いう。

此の寇戦に於ける彼が勲
功の具体的事実は菅原の知
る由もないが、宗像家文書
三万フートの高野田は、
気球の直径が二メートル
以上あり二百キログラムの
重量搭載が可能とされて
いる。それは台湾から二千
メートル以上の地域を目的
として、新疆ウイグル自治
区、チベット、青海省、内
蒙古自治区、東北地方等
である。中野田は山東、河南
四川湖北などで二キロメ
ートル以内から二キロメ
ートル以上で、更に小型気球は
千キロメートル以内の福建
浙江、広東省を目標として
いる。気球の大小によつて
三地域に分けられている。
また春節(旧正月)の
端午節(旧五月五日)中
秋節(旧八月十五日)等
の祝日や祭日等を選び、大
陸での水害、地震、旱魃な
どの大災害の場合に通常の

祭日録の中に明らかにそれ
と目されるものは次の
文書一通である。
一、肥前国神崎庄五町文書
一通 田地註文並拜付
正応二年三月十二日
弘安四年蒙古襲撃功之
地也
社務長氏代奉行面判
一、全

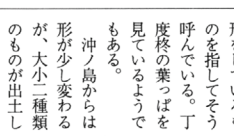
雑決断所
筑前国宗像社大宮司長氏
申肥前国神崎庄内当知行
分五町事
(中略)
建武元年三月廿日
西正中原朝臣
右中藤原朝臣
相集り、合資に預る者亦
多く、此時幕府は、賞を受
くべき人員を、或は家柄に
より、さては戦功によつて
上中下三分し、

上等一田地十町外屋敷
中等一田地五町外全
下等一田地二町外全
として配地を決定したと
云うが前期文書と合せ考え
れば、誠に我々宗像氏は
中等配分の面目を施して、
田地五町と共に、屋敷、畠
地等も賜つたものである。
かくして弘安の後の功勲
も、鉄地金銅張
りで出来た台板
の上に、同様の工法を使つ
た透し彫りの鉄地金銅製の
表飾板を、繰返りしてつ
花形鉄で留めて作り上
げている。上部には力革搦
みの張り出しの掛け、胸
繁か尻繁かの垂れ紐に結
着けられる様に、黄金具を
装着している。心葉形鳥人
文の香葉とまっぴく同じ工
法である。

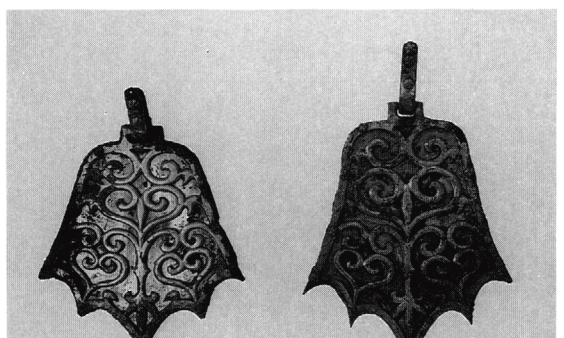
表飾板は冬草唐文を透
し彫りにした文様で構成し
ている。非常に簡略化して
おり、葛蔓の図案化した一
層引き出した空間
シメントリットを強調
してはいると言つてもいい
ではない。
同様な心葉形の形態を持
つ細い香葉が、別に個
同じ所から出土してきてい
る。これは心葉形の形が
ずれたものであり、棘は五
つあるが鈍角で、形が浅
めにただつけられている
けのようである。
この文様も唐草
文の形はして
いるが、やは
り忍冬唐草文
を非常に単純
化してきてい
るようである。
文様構成は
前述と同様に
左右対称とし、
やはり上下四
段組みではあ
る。全体的に
一本線を連結
させて、「ハ」
上形の文様
形として表現
している。こ
れらの心葉形
草文は断面
三角形状の透
し彫りで作り
出している。七号遺跡出土
の他の香葉とくらべると、
ここでは違和感を持つが、
全国各地の古墳から出土
している香葉はこの手の物が
多くみられる。また韓国
の古墳から出土している副葬
品のなかの香葉にも、変形
のハート形をした唐草文
文が多く用いられている。
〔松〕

古野神宝

金銅製心葉形香葉
ここに記載する心葉形香葉は、前
号で述べた心葉形香葉と同じ
時に、七号遺跡(古野)の
祭場の祭壇西側に、鍍金
具・帯金具などの馬具類と
一緒に、まとまって奉獻さ
れていた。
心葉形の香葉とは、裾部
にあたる下端が、五本の爪
が飛び出しているような状
態で末広がりに尖つた
形をしているもの
を指してそう
呼んでいる。丁
度枝の葉っぱを
見ているよう
でもある。
沖ノ島からは
形が少し変わる
が、大小二種類
のものが出土し
てきている。大
形の方が細長、
上部は肩が張つ
た趣きを持つが
スマートである。
小形の方は無
肩で、胴部に膨
らみ丸味を持つ
が、全体的に鈍
重さが感じられ
る。
心葉形の香葉
も、鉄地金銅張
りで出来た台板
の上に、同様の工法を使つ
た透し彫りの鉄地金銅製の
表飾板を、繰返りしてつ
花形鉄で留めて作り上
げている。上部には力革搦
みの張り出しの掛け、胸
繁か尻繁かの垂れ紐に結
着けられる様に、黄金具を
装着している。心葉形鳥人
文の香葉とまっぴく同じ工
法である。



気象観測器



心葉形香葉

表飾板は冬草唐文を透
し彫りにした文様で構成し
ている。非常に簡略化して
おり、葛蔓の図案化した一
層引き出した空間
シメントリットを強調
してはいると言つてもいい
ではない。
同様な心葉形の形態を持
つ細い香葉が、別に個
同じ所から出土してきてい
る。これは心葉形の形が
ずれたものであり、棘は五
つあるが鈍角で、形が浅
めにただつけられている
けのようである。
この文様も唐草
文の形はして
いるが、やは
り忍冬唐草文
を非常に単純
化してきてい
るようである。
文様構成は
前述と同様に
左右対称とし、
やはり上下四
段組みではあ
る。全体的に
一本線を連結
させて、「ハ」
上形の文様
形として表現
している。こ
れらの心葉形
草文は断面
三角形状の透
し彫りで作り
出している。七号遺跡出土
の他の香葉とくらべると、
ここでは違和感を持つが、
全国各地の古墳から出土
している香葉はこの手の物が
多くみられる。また韓国
の古墳から出土している副葬
品のなかの香葉にも、変形
のハート形をした唐草文
文が多く用いられている。
〔松〕